

HSK

どうじん

第 87 号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可
H. S. K 通巻360号

発行日 平成14年3月10日
(毎月10日発行)

編集 北海道腎臓病患者連絡協議会
札幌市北区北17条西2丁目
21-617-101

発行 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市西区八軒8条東5丁目4-18
細川 久美子

平成14年 初春号(PR版)

—— 今こそ患者は団結を ——
透析医療・福祉制度が次々と後退



「春の息吹き」

撮影 瀬野 一郎 氏

北海道腎臓病患者連絡協議会

「今こそ患者は団結を」

北海道腎臓病患者連絡協議会

会長 堀井和彦



厳しい寒さが緩み、少し通院や日常生活が楽になってきました。皆様方の体調は如何でしょうか。

本年はいよいよ、医療制度改革が本格的に始まる年です。厚生労働者の医療制度改革の試案は、「聖域なき構造改革」の風を背景に、

国民にも医療機関にも痛みを分かち合ってもらおうという考えです。健保本人の自己負担を2割から3割へ、総報酬制の導入による保険料の引き上げ、史上初の診療報酬の引き下げ、高齢者の1割負担（高収入者は2割負担）など患者の負担が強いものばかりで、納得できるものではありません。

透析医療も患者が20万人を超え、その医療費は約1兆円を使い、高額医療の代表と言われています。その為、透析医療費も「慢性維持透析患者

外来医学管理料」（検査等の包括）や技術料、ダイアライザー料金の引き下げ等、影響があり、我々患者にとっては不安材料が出ています。

今から30年前、昭和46年頃の透析医療は医療保険が適用されていましたが、社会保険本人は医療費が無料だったので透析ができました。しかし、自己負担（当時で月額10万円〜30万円）が必要で支払えない患者や支払い能力があっても圧倒的に透析器械が少なく、多数の患者が帰らぬ人になっていました。

このような状況の中、全国の腎臓病患者が団結し、立ち上がりました。透析器械を全国的に設置して欲しい、透析医療費を公費負担にと、厚生省や国会に陳情活動をしまし

た。

そして、身体障害者福祉法改正で更生医療の適用になり、また、重度心身障害者医療費助成事業で自己負担なしの透析医療が受けられるようになりました。

しかし、自らは透析にはいることが出来ずに亡くなっていた方や先達の患者会活動のお陰で今、世界一の透析医療が受けられる事を忘れてはいけません。

透析医療に対する厳しい経済環境の中、いまこそ、患者が一致団結して活動していかなければなりません。これらはすべての透析患者に関係して来る事であり、他人まかせでなく自らが考え、患者会に入り一緒に、医療・福祉制度を守りましょう。

厚生労働省は平成14年度4月からの診療報酬の改訂の中で、これまで健康保険に適用され無料の外来透析患者の食事を保険適用外にすること、透析時間を現在の4時間未満、4時間以上5時間未満、5時間以上の3段階で保険請求が出来、患者の病態に合った透析をしていましたが、これを廃止して透析時間を一本化すること、また「慢性維持透析患者外来医学管理料」を引き下げ、これにより外来透析患者の血液検査料等を引き下げる事を盛り込んだ改訂案を中央社会保険医療協議会(中医協)に示しました。道腎協は全腎協からのこの情報に素早く対応し全国の仲間と一緒に中医協の各委員や厚生労働省に抗議文を送りました。

この2月20日に中医協でこれが決定されるという大変残念な結果となりました。透析時の食事は「治療の一環」とし、患者会が昭和50年から国会請願を続けて昭和56年に保険適用させたものです。

また透析時間も長時間透析が患者の病態に合わせて行なわれており、延命治療やQOLに効果がある事は学界の定説であり、透析時間の一本化から、さらに時間短縮をも視野に入れていると言われる厚生労働省の考え方には絶対反

外来透析患者の食事が有料に 透析時間が一本化 ダイアライザー料や検査料が さらに引き下げに

対です。まして検査料の引き下げは透析医療の質の低下を招きかねず、患者の自己管理や医師の患者の管理に支障を来す事にもなりかねません。これは大変重大なことです。また厚生労働省は、平成14年10月から高齢者の患者負担に収入により負担に差を設けたり、平成15年4月から医療保険制度を大幅に改悪しようとしています。

私たちが現在加入している健康保険の保険料が、ボーナス込みの年収(総報酬)制となり大幅にアップ。さらにサラリーマンの医療費の負担割合をこれまでの2割から3割負担にしようとしており、昨年10月から北海道が重度心身障害者医療費助成事業(障)に所得制限を導入しましたが、該

当する透析患者さんには透析以外の病気で他科を受診した時は負担がさらに大きくなり、保険料のアップとともに経済的にも苦境に立たされる事となります。

私たちは一人でも多くの方の患者会への参加を呼びかけ、大きな組織となって私たちの「生命とくらし」を守っていかなくてはなりません。

それが今透析を受けている私たちの使命ではないでしょうか。皆様の入会をお待ちしております。

(村 本)

腎友会はこのような事をしていきます

全道の透析患者の皆さん、

体調はいかがですか？日差しも柔くなり、若葉の芽吹く春が待ち遠しい今日この頃です。今回はより多くの皆さんに道腎協そして腎友会の事を知っていただくために、日頃

どのような活動をしているかをお話したいと思います。

道腎協は他の都府県と違い、

広大な地域が集めた地域腎友会、市単位の腎友会、一部病院患者会単独での加盟と、組織の形態に特色があります。そのため年2回の道腎協のブロック会議には、患者でもある役員さんが、1日ばかりで参加するという困難もあります。

道腎協の活動には、道腎協全体として各地域腎友会と連絡を取り合い行うもの、また皆さんが直接関わることの多い各地域腎友会での特色あるもの、そして北海道ブロックとして参加している(社)全腎協と連携するもの、他団体と協

力するもの、があります。

「道腎協と地域腎友会」

一昨年から昨年にかけて、道腎協全体で、そして地域腎友会で、道と各市町村に「重度心身障害者医療助成制度(国)」の所得制限導入に反対する働きかけが活発に行われました。全国的に地方自治体の医療助成が後退傾向の中、北海道でも道から各市町村への「重度心身障害者医療補助率」が一昨年4月から引き下げられました。道腎協では「重度心身障害者医療助成事業の道から各市町村への補助率引き下げと所得制限導入をやめて下さい」と、署名請願運動をし、一昨年金道で26、882名

の署名を携え道議会に請願しました。釧路の1市11町村への署名請願、旭川の署名請願、苫小牧の要望書などほとんど地域腎友会でも、行政に活発に働きかけました。残念ながら多くの市町村で昨年10月から(国)に所得制限が導入され、医療費の一部負担をする方々が出ました。しかし、一部では導入を見送った市町村もあり、これは各地域腎友会の活動の成果といえます。また道腎協では引き続き道と意見交換会を持っています。

次に全国的にさかんになってきた透析患者の介護支援事業についてです。透析患者の高齢化や、合併症等により誰でも心配のある通院への不安



総会時の医療講演会

ですが、すでに北海道でも、釧路地方腎友会の「さわやか通院介護」、室蘭地方腎友会の「サポート室蘭」、旭川地方腎友会の「たいせつ旭川」が透析患者を中心としコーディネートされ、一般市民も加わり、利用者の会費で運営され送迎ボランティアが行なわれ、利用者に喜ばれています。旭川では昨年介護タクシー運行が開始され、「介護保険の中で通院移送サービス」と、旭川地方腎友会が行政に訴えてきた成果と考えられます。「たいせつ旭川」では介護タクシー運行後、一般患者のリハビリセンターへの通院支援もはじめ、透析患者以外にも拡がりを持っています。「サポート室蘭」ではNPO取得の準備を進めています。介護タクシーは札幌・江別でも運行され、各腎友会と話し合いが持たれています。また行政に対して



親睦交流会（炊事遠足）

は、小樽後志地方腎友会のタクシーチケット増数実現、深川腎友会の透析ベット増床の要望、釧路地方腎友会の介護保険内容充実と通院交通費増額助成の要望などがあります。その他、21ある各地域の腎友会では、実りある会員交流の場を作っています。札幌では炊事遠足やボーリング大会、十勝ではパークゴルフ、紋別では難病患者と交流会、北見

では道東6地区交流会、苫小牧ではサクランボ狩り、留萌では親睦旅行、浦河では、秋には入浴困難な患者さんも病院スタッフの協力で一泊旅行に参加、滝川では暑寒別登山とレクリエーション、岩見沢

では一泊旅行、根室でもレクリエーション、夕張では研修旅行と味覚祭、オホーツクでは勉強会、江別では親睦会と医療講演、小樽では20周年祝賀会、伊達ではアンケート調査実施、道南・稚内・札幌では会員さんを増やす活発な取り組み。また道腎協では年2回の医療講演を行なっています。

今年で25周年の道腎協定期総会は花開く札幌で開催されます。話し合いと交流が深まりますよう是非多くの方々のご参加を!!

そして、道腎協の会報「どうじん」は全国と道・道と地域をつなぎ、より生活に密着

した北海道の福祉や医療、各地の会員の声を皆さんに伝えます。

「道腎協と全腎協

・他団体」

全国共通の活動としては、昨年で30回目を迎えた全腎協の年に一度の国会請願・署名募金運動があります。これは「腎疾患総合対策の早期確立」を要望し、昭和46年から行なわれており、この運動があらわにこそ、今まで医療費の心配なく、そして実現した事も多く（P8参照）、透析患者の生活が守られてきたと言えるものです。昨年は全国で1、045、558名全道で44、256名の署名が集まり請願されました。請願内容は、介護保険での必要な人すべてに介護がそしてサービスが向上すること、透析患者の通院介護・医療・福祉サービス向上、

臓器移植推進普及などについてです。衆参両院とも全会派の賛成で採択されています。

次に昨年で21回目となった全国一斉腎提供者拡大街頭キャンペーンは、現在「臓器提供意思表示カード」の配布を中心に行なわれています。カードを携帯する方も多くなり、全国で脳死による移植が17例以上行なわれるようになりましたが、全国的に心停止後の献腎移植が減少傾向にあり、北海道各地でも、心停止後の献腎も訴えるキャンペーンが行なわれました。千歳腎友会の道腎協と協力してのキリンフェスティバルでのキャンペーンや、道南腎協の市民健康まつり参加でのキャンペーンなど、各地工夫をこらしています。

被災会員のため、その時々で見舞金を募集してきましたが、昨年「災害見舞金制度」を始めました。北海道でも、去る有珠山噴火時に、全道全国から数多くの募金が寄せられ、被災会員に届けられました。その後、伊達の会員のご好意により「災害義援金基金」として7,810,905円が道腎協に寄せられ昨年から道腎協独自の基金が発足しています。

全腎協では生活・福祉・食事の無料電話相談も行なっており、会報の「ぜんじんきょう」では全国の患者や会の様子や声、国の政策と透析患者の関わり、最新の医療などが伝えられます。

道腎協ではJPC（日本患者・家族団体協議会）そして道難病連とも協力し、署名運動で国に働きかけています。道腎協が腎臓部会として加盟



腎キャンペーン（千歳キリンフェスティバル）

ご参加をお待ちしています。今後の活躍が楽しみです。

最後に、昨今の国民全体への医療費自己負担増加傾向の中、所得制限が全道の多くの市町村で導入された事は、ただ単に、お金のある者は医療費を負担すべきで、また負担する側もその医療費を今は支払うことができるという事にとどまりません。医療費負担の隔差は、やがては、お金のある者は良い医療を受けられ、ない者は良い医療を受けられない、という事にもつながりかねません。現在は一人が自分自身の医療と生活を考え、協力することが大切な時期であると思われます。

今のそして、これからのより良い暮らしがあるようにと道腎協は考えています。多くの方々の会への参加をお待ちしています。

（福原）

(内は関連団体)



腎友会に参加して

全国の仲間とともに運動した成果はこんなにあります

ともに頑張りましょう

手帳も

腎臓病患者も身体障害者福祉法の対象となり、身体障害者手帳が交付。

(1972年)

人工腎臓も

人工腎臓整備5ヶ年計画により、国公立に人工腎臓増設。

(1972年)

小児も

18歳未満の入院中の腎臓病児について、医療費が公費負担に。

(1972年)

医療費も

人工透析の医療費が公費負担されるようになり、月額10万円から20万円もの自己負担が軽減。

(1972年)

移植も

腎バンクの発足(1977年)、腎移植に健保適用(1978年)、腎移植センター整備(1979年から)、腎移植に関する法律制定(1980年)、腎提供者も健保適用(1981年)、「腎移植推進月間」設定(1981年)、腎移植推進員配置(1990年)、腎臓移植ネットワークシステム(1995年)、臓器移植法成立・施行(1997年)など移植体制すむ。

雇用も

身体障害者雇用促進法の対象に(1974年)、その後も次々と制度改善。

検尿も

小・中学生の検尿が義務化。

(1974年)

研究も

小児慢性腎疾患の予防と治療に関する研究班、腎不全対策推進会議発足。全腎協代表参加。

(1985年)

運賃も

鉄道・航空機運賃の身体障害者割引きの対象に。

(1990年)

保険点数も

人工腎臓の診療報酬に夜間加算(1978年)、食事加算(1981年)、障害者加算(1991年)、5時間透析(1996年)など。

年金も

20歳前障害に基礎年金支給、事後重症5年制限撤廃(1986年)、失権制度の廃止。(1994年)

CAPDも

CAPDに健保適用(1984年)、CAPD加温器等健保対象に。(1987年)

技術も

エリスロポエチンの健保適用。(1991年)、自動腹膜透析装置などが健保適用(1992年)、在宅血液透析にも健保適用(1998)

高速も

有料道路料金身体障害者割引き制度の対象に内部障害者も適用。(1994年)

これまで

いんるに

実現したよ!

ワン!

がんばりましょう!

道関係部課との意見交換会開催

平成14年2月12日(火)10時30分より札幌プレスト1・7の6階会議室において道側10名、道腎協8名の出席にて「腎疾患総合対策の早期確立」に対する要望と道腎協独自の要望について道と意見交換会を道側江上総務係長、道腎協澤内事務局長の進行で行われました。

(道側出席者)

保健予防課	課長補佐	望月克美氏
薬務課	〃	南條寿広氏
高齢者保健福祉課	〃	福浦忠雄氏
介護保険課	〃	黒田輝雄氏
障害者保険福祉課	〃	富沢久嗣氏
〃	〃	伊藤敏彦氏
総務課	総務係長	小林健一氏
障害者保健福祉課	在宅推進係長	江上洋行氏
保健予防課	医療福祉係長	佐々木政雄氏
		中川悟氏

(道腎協出席者)

堀井和彦会長、山口信子副会長、佐藤昌夫副会長、川村隆志副会長、鈴木啓三相談役、村本徳雄会計、澤内繁雄事務局長、佐藤利國全腎協北海道ブロック担当理事

「腎疾患総合対策」の早期確立に対する要望事項

〔要望事項〕

- 1 年齢、障害の種類、程度を問わず、必要な全ての人に介護が補償される制度を確立して下さい。
- 2 透析患者の重症化、障害の

重複化に伴う要介護透析患者の急増に対する医療・福祉両面における在宅サービス、施設サービスを早急に拡充して下さい。

〈回答〉介護保険課

○介護保険は、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となつた方に必要な保険給付を行う制度で、障害者の福祉に係る施策、医療保険制度等との整合性などを考慮し、保険給付を受けられる者の範囲、保険給付の内容及び水準を含め施行後5年を目途として全般的に検討が加えられ、必要な見直しが講じられる。

○介護保険施設については、要介護者に対し①ベットがあいていない場合、②入院治療の必要がある場合、その他入所者に対し自ら適切なサービスを提供することが困難な場合といった正当な理由なくサービスの提供を拒んではならないと規定されている。

道としては、介護保険サービスに係るさまざまな課題について、国への要望も含め、

解決が図られるよう努めていきたい。

〈回答〉障害者保健福祉課

○身体障害者ホームヘルプサービスについては、身体介護、家事援助などを必要とされる方々に対して行い、その派遣対象者は、

- ・入浴等の介護、家事援助にあつては、重度の身体上の障害等のため日常生活を営むのに支障がある身体障害者であり、
- ・外出時の移動の介護等にあつては、重度の視覚障害者及び脳性マヒ者等全身性障害者であつて、余暇活動等の社会参加のための外出などにおいて適当な付添を必要とする場合となつています。

○北海道障害者プラン(平成10年度から5ヶ年計画)に基づき、身体障害者ホームヘルプサービスやショートステイなどの充実に努めていきたい。

また、重度身体障害者更生援護施設などの整備についても努めていきたい。

3 通院の困難な在宅の透析患者

者のために、ホームヘルパーの増員、移送支援など通院介護補償体制を確立して下さい。

〈回答〉障害者保健福祉課

○身体障害者ホームヘルプサービス事業の実施主体は、市町村であり、市町村の責任のもとにサービスを提供するものですが、北海道障害者プランにおいて平成14年度までの整備目標を定め、順次、整備を進めており、これからも各種会議などを通じて積極的な取り組みが行われるよう働きかけていきたい。

移送支援については、地域政策補助金(福祉振興・介護保険基盤整備事業)の中で「重度障害者タクシー料金補助事業」として、重度の身体障害者の方がタクシー等の利用に要する経費について、市町村への補助を行っています。

また、市町村が実施する「市町村障害者社会参加促進事業」の中の重度身体障害者移動支援事業として、リフト付き乗用車を運行する経費について、また、リフト付き福祉バス運行事業として、リフト付き福

祉バス設置及び運行に係る経費についても助成を行っています。

〈回答〉高齢者保健福祉課

○移送支援については、65歳以上の高齢者又は60歳以上の下肢が不自由な高齢者の場合は、「介護予防・生活支援事業」の「外出支援サービス」や「軽度生活援助事業」において医療機関等への送迎や外出時の付き添いなどを市町村が地域実情に応じて実施できることになっていきます。

〔備考〕

〔外出支援サービスの利用対象者〕
・おおむね65歳以上の高齢者であって、一般の交通機関を利用することが困難なもの

・おおむね60歳以上の高齢者であって、下肢が不自由なもの

〔軽度生活援助事業の事業内容〕
・外出・散歩の付き添いなどの外出時の援助

4 看護婦、ホームヘルパーなどの医療・福祉従事者不足を

早急に解消し、大幅な増員対策を具体的に講じて下さい。



真剣に聞かいる道腎協役員（右上一列）

〔回答〕地域医療課看護対策室
○看護職員の増員については、平成13年2月に作成しました「看護職員受給見通し」に基づいて、看護婦養成施設補助金等の養成確保対策、小規模病院等看護職員地域推進事業等の就業定着対策、およびナー

スバンク事業や訪問看護婦養成講習会などの就業促進対策を行っており、今後とも推進して参ります。

〔回答〕障害者保健福祉課

○身体障害者ホームヘルプサービス事業の実施主体は、市町村であり、市町村の責任のもとにサービスを提供するもの

で、北海道障害者プランにおいて平成14年度までの整備目標を定め、順次、整備を進めており、これからも各種会議などを通じて積極的な取り組みが行われるよう働きかけていきたい。

〔回答〕保健福祉課

○介護保険法に基づく訪問介護員は、知事が指定する要請事業者によって養成されています。

養成者数は、平成12年度末で5万人余りとなっており、今後は毎年1万5千人程度の増員が見込まれています。

5 臓器移植の推進普及のため
都道府県所属のコーディネーターの増員と身分保障を確立して下さい。

〔回答〕保健福祉部薬務課

○都道府県コーディネーターの増員につきましては、現在腎バンクの方へ委託しております。各都道府県の実情に応じた、必要な人数のコーディネーターが確保できるよう、全国衛生部長会を通じ、厚生労働省に対し、複数配置に対する補助制度の拡充について要望

しています。

○身分保障の確立につきましては、厚生労働省においても法的資格化などの方向性は決まっていない状況ですが、今後の国の動向を踏まえ、適切に対応していただきたい。

〔道腎協独自の要望項目〕

1 重度心身障害者医療助成制度に対する今後の対応について

〔障〕に対する所得制限を厳しくしないでください。

〈回答〉保健予防課

○道独自の医療費助成制度については、これまで、受給者の



回答をする道側各氏

所得の額にかかわらず助成対象としてきましたが、各種福祉手当など国の制度や多くの都府県において、所得制限が導入されている状況を踏まえ、負担の公平性を確保するなど、観点に立って、平成13年10月からこれを導入したものであります。

今後の事業の推進に当たりましては、国の医療制度改革の動向などを見極めながら、制度の安定的な運営を図っていく観点に立って、対応していきたいと考えています。

○昨年10月からの所得制限導入で全道で対象となる重度心身障害者12万人の3%（3、600人）程度が適用除外となりました。

特に今は社保本人が2割負担から3割負担になる事が〔障〕の制度に深く係わって来るので今後とも動向を見守って行きたい。

2 通院交通費助成について

2 本道における通院交通費助成の充実を進めてください。
（本道には通院交通費助成事業がありますが、所得制限の

緩和や助成金の値上げをし、より一層の拡充をお願いします。）

〈回答〉障害者保健福祉課

○腎臓機能障害者が人工透析療法を受けるための通院に要した交通費について、昭和55年度から身体障害者手帳の交付を受けている方々に対して、所得や他の制度において給付や運賃割引を受けていないことを要件として助成しているところであり、今後とも引き続き助成していきたいと考えています。

3 通院交通費の横だしについて
3. 本道における要介護透析患者対策の充実を進めてください。

（道内の各自治体に対し、通院介護のための、ガイドヘルパーやホームヘルパーの充実を道からも要請していただきます。）

〈回答〉障害者保健福祉課

○身体障害者ホームヘルプサービス事業の実施主体は、市町村とされており、市町村の責任のもとにサービスを提供することになっていますが、北

海道障害者プランにおいて平成14年度までの整備目標を定め、順次、整備を進めているところであり、これからも各種会議などを通じて積極的な取り組みが行われるよう働きかけていきたい。

〈備考〉

※ガイドヘルパー派遣対象者
重度の視覚障害者及び脳性まひ者等全身性障害者

更生医療制度の適用について
4 道としてより一層、未指定医療施設に対し働きかけていただくようお願いいたします。

〈回答〉障害者保健福祉課

更生医療を担当する医療機関については、開設者の同意を得て指定を行っているところですが、更生医療の趣旨について理解していただけるよう、さらに周知を図っていききたいと考えています。

各回答の合間に役員から質問も出て、道側の回答をいただきましたが、今回スペースの関係で掲載出来ませんでした。今後とも、この様な形式での話し合いを続けていきたいと思います。

青年部(仮称)交流会開催

道腎協青年部(仮称)は1月26日・27日、場所を層雲峡において札幌3、江別1、旭川1、士別1、北見1で平均年齢約38歳という7名のメンバーに加え佐藤副会長を招いて今後の活動計画を中心に交流会を行いました。

まずは、普段の透析の疲れをとるため身がほんとうに凍る大露天風呂でゆっくりしました。

6時より宴会となり食事をとりながら佐藤副会長から患者会の歴史、結成の背景などを聞いてその後メンバーでこれからの活動計画について話し合いました。



佐藤副会長(前列右)を囲んで

まず青年部の目的を

「青年患者の要求、悩みを交流しながら青年患者の自立の方策を考えていく」

とし、青年部をどうPRしてメンバーを募るかに終始して話し合いました。

その主な内容を報告致します。

- ・交流会は年2回とする。
- ・会員以外にもPRするため3月のどうじんPR版に掲載してもらう。
- ・ホームページを作成し掲示板にだれでも自由に書き込んでもらう。
- ・ポスターを作製する。
- ・青年患者の対象者を調査する。
- ・5月の道腎協総会で立ち上げが出来るよう道腎協に働きかける。
- ・パンフレットを作成する。
- ・総会・ブロック会議にボランティアとして参加して手伝いをする。
- ・部長は川村氏に決定。
- ・青年部に愛称名を付ける。
- ・次回交流会は7～8月とする。

ということとしましたが、予算的なこともあり今後、青年部のあり方について道腎協とも協議していきます。皆さん青年部を暖かく見守っててください。

その後、みんなでゲームで盛り上がり就寝したのはAM3:00でした。青年部の諸君！お疲れでした。
(報告：川村)

【青年部メンバーと愛称名募集！】

5月の道腎協総会で青年部を発足出来るよう努める。

40歳代までの患者、家族、関係者の皆さんを対象にメンバーを募集致します。

また愛称名も募集しますのでたくさんのご応募お待ちしております。

[連絡先]

Kiyono@passage.ne.jp

又は道腎協事務局：011-747-0217 (FAX共用) 川村迄 お願いします。

腎臓でラッキーだ！

留萌地方水無人腎友会

吉崎 英樹



それは20歳の時でした。健康診断時Drに「腎臓病かな？」と言われました。私は自身の体の状態を理解するため医学書を読みあさり、自分の病気を理解しました。「慢性腎不全」進行を遅らせることは出来るが、治すことは不可能だ。「あーオレ透析になるんだ！？」

あれから特に意識もせず過ごして、もつと先かと思っていた透析が意外に早く私に直面しました。私はCAPDからの導入になりました。住宅を建てたばかりで2日間ほど悩みました。「これからどうしよう？」でもいろいろ調べて行くうちに、障害年金や医療

助成などの事を知り、「なんて恵まれた病気なんだろう」と思い、一気に前向きに。さあーここから私の新生活のスタートです。当時の仕事は辞めました。大企業ほど冷たいものです。

そして私は過去の社会的地位やこれからの自分にプラスにならない過去の悪い思いを全て捨てました。透析をしてやっけて行くには過去を捨てないと何も始まらないと思ったからです。

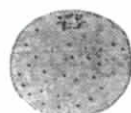
そして職探しです。常用は難しいです。アルバイト的な仕事、それもシフト制勤務でなくてはうまくいきません。理解ある事業所数ヶ所で働きました。

そしてある日「自分で何か仕事が出来ないか？」と考えました。私は車が好きでそれなりに知識もあり、自宅兼店舗で中古車店を始めました。最初はまあまあでした。しかし不景気ゆえ、売れゆきも鈍くなり、現在は縮小営業にし、古物関係の仕事をもう一本しています。これが今現状私の仕事です。仕事と透析に追われ、日々過ごしていますが楽

しい事も時にはありますよ。仕事は「今の自分に何が出来るか限界を考えて」探すことかな。たまに卑屈になり引き込まれている患者さんに出会います。いろいろ事情はあると思いますが素直に現状を受け入れて、前向きに生きて下さい。私達よりもっと大変な人もたくさんいます。腎不全なんかたいした事ありません。楽しく生きましょう！

最後にインターネットやる方へすごく楽しいサイトがあります。「透析のひろば」<http://naiweb.on-arena.ne.jp/touseki/> 私はそこでいつも情報交換しています。このサイトはとても明るく楽しい人たちがかりです。看護婦さんとかもいますよ。楽しく行こう。

飲食物と薬の相互作用



ご協力：旭川赤十字病院薬剤部

私達が普段、口にしている食品の中には化学的な作用をもつ多くの成分が含まれており、これらの成分と薬とが反応することによって思いもかけない重大な結果をもたらすことがあります。薬が体内で期待通りに効くように、飲食物にも注意することが必要です。

◎牛乳 抗生物質の【ミノマイシン】【セフゾン】【クラビット】等は、牛乳中のカルシウムや鉄とキレートを形成するため吸収が阻害されます。

【エビプロスタット】等の腸溶錠は牛乳の中でコーティングが溶けてしまうため牛乳で服用することは避けるべきです。

◎緑茶・紅茶・コーヒー コーヒーや緑茶の中にはカフェインが含まれているため、これらとの併用により喘息治療薬の【テオドール】【テオロング】等では副作用が増強されることがあります。また、抗不安薬の【セルシン】の鎮静作用を消失させたり、循環器用薬の【インデラル】では心拍数の減少がみられます。また、緑茶・紅茶・コーヒー等、タンニンを含む飲料で精神科用剤の【セレネース】を服用すると沈殿を生じ、薬の効果を弱めてしまうため、これらと一緒に服用するのは避けた方がよいです。また、貧血治療剤の「フェログラ」は鉄分が緑茶・紅茶・コーヒーに含まれるタンニンにより吸収が阻害されます。



◎グレースフルーツジュース グレープフルーツジュースに含まれる特有の苦味成分であるフラボノイドが、肝臓において循環器用薬の【アダラートCR】【ワソラン】等や消化管機能改善薬の【アセナリン】、免疫抑制剤の【プログラフ】【ネオーラル】等の代謝を抑制するため薬の作用が増強することがあります。オレンジジュースでは、このような作用はないようです。

◎納豆・ビタミンK含有食物 経口抗凝血薬である【ワーファリン】は、肝臓でビタミンKと拮抗して血液凝固を阻止する薬です。ビタミンKは、納豆菌が腸内で大量に合成したり、また、クロレラ等の食品に多く含まれています。そのため、ビタミンKが体内に多く存在するとワーファリンの作用を弱めることになります。また、ホウレンソウやブロッコリー等の緑色野菜を大量に食べると、ビタミンKを多く摂取することにつながりますので控えましょう。



◎アルコール アルコールと薬剤を同時に飲むことは薬の作用や副作用を増強させることが多いので注意しましょう。

各地のたより

〈岩見沢〉

去る12月16日(日)私共の腎友会で企画した透析講演が予想をはるかに越える70名の参加を見て盛会の内に終了し、私共役員一同胸をなでおろしている所でございます。

当初の予定で約55名位の座



御礼の花束贈呈 阿部副院長と上牧婦長さんへ

席を設営しておりましたが、開始を待たずに埋まり、座席の追加をしながらの始まりとなり、うれしい悲鳴でした。

道腎協よりのPRパンフも各家族一部という事で、不足なくいきわたり、終わった今日より会員が入会申し込みに來ております。

私共の病院では、この様な講演が初めての試みであった事、更に新しい患者さんが透析医療の何たるかを本当に知る機会が少ない現状、そして家族を含めた親しい仲間同志と一緒に聞いて質問できた事等々、講演時間を上まわる程の質問が出され、当初私が心配しておりました司会進行役は何の心配もなく、むしろ時間オーバーを心配した所でした。

質問の内容はおよそ初めての事で、笑いたくなる様な事も出ましたが、本当に有意義な2時間でした。最後に御礼として花束を用意しましたが、先生も婦長さんも満面の笑顔で受け取っていただき、お開きとしました。翌日より入会者が続々と私の所に来ており、

驚いております。

終わってからの感想ですが「案ずるより生むが易し」という事で一生懸命な姿が患者に伝わった時に、結果は必ず出るのですね。「腎友会」がこれ程、皆の会話に上る事は、予想を越える反響でした。

(報告 松本 正治)

一般投稿

道腎協ブロック会議に参加して

旭川地方腎友会 小平 敬明



初めて参加させていただいた。その時の感想などを述べて見たいと思います。

10月27日のブロック会議は札幌会館で行われました。内容は地域患者会の活動報告及び道腎協の活動報告と前期決算報告の他、医療保険制度改革への対応策や国の経済財政

先日札幌で行われた道腎協ブロック会議と役員研修会に

諮問会議についての報告などがありました。しかしこれは対応策と呼べるほどのものではなく、ただ国や道がやろうとしていることの報告にすぎず、それに対して患者会組織が取り組むべき対応策のようなものはまだないようです。そのことに関しての質問が2、3ありました。

28日の役員研修会は、「地域行政に対する実践の方法」と題して、苫小牧、旭川、釧路のそれぞれの代表が重度心身障害者医療費助成事業（マル障）への所得制限導入に反対する地方腎友会の取り組みをレポートしていました。その内容は事が起こってから行政への対応を始めるというような印象がありました。唯一旭川の報告がそれとは違った普段からの行政への対応が報告されました。知り合いに議員がいるとかの人脈的なコネクションがあればそれを最大

限利用することも必要であるような気がします。

その後全体を3つのグループに分け、この件に関してのディスカッションがありました。この小グループに分けるやり方は、発言するお互いの顔が見える円卓形式でその効果のせいか活発な意見交換があったように思えました。私のグループは行政対応の問題ではなく、この「マル障」問題そのものに焦点がいき、マル障問題を段階的に受け入れるのか、全く受け入れない態度をとるのかで意見が分かれました。私も実は前者の意見に賛成です。腎友会の幹部の人たちはとりわけ昔の苦しかった時代のことを全面に出し理解を求めるかのようにしています。PR誌を読んでもその事が毎回のようには書かれているのがよく目につきます。確かに会の歴史を伝えていくこと、自分達の生活を守るため

の署名運動等も大事なことでありますが、それだけでは今の人達には理解されにくいような気がします。もっと違った意味での会の意義や魅力を模索していくことが必要な時期ではないかと思えます。具体的にそれが何であるかは今の自分にもよく判らないのですが、これを重要なテーマとして自分に課していきたいと思っています。そんなことを強く感じました。

今回初めてブロック会議に出席していろいろと考えさせられることがありました。今年の春から腎友会の幹事に誘われ、今まで腎友会に全く無関心だった自分に何が出来たのかよく判らないので、可能な限り全ての集まりに顔を出しこの腎友会がどんなものなのか、他の運営委員や幹事の方達がどのような考えで活動しているのか見てきました。今回もその一つでしたが、2

日間続いているいろいろな人の意見を聞き自分なりに有意義な時間を過ごせたと思っています。もっと若い人たちもたくさん参加して欲しいとも思いました。また機会があれば進んで参加したいと思います。

oooooooooooooooooooo

◎お詫びと訂正

“どうじん”前号（86号）の一般投稿で旭川地方腎友会伊林義男氏の「送迎ボランティア一年を経て考える」の文中で「旭川通院送迎ボランティア「たいせつ旭川」では、活動の啓発や社会環境の意味も含め介護保険からもれた要介護透析患者さんや一般患者で移動困難な身体障害者さんを対象とした通院送迎活動の方向で現在行っている」という主旨が抜けておりました。お詫びと訂正をいたします。

「親切と言葉」

道賢協副会長 川村 隆 志



困っている人達に品物やお金を贈って慈善行為をすることは、大きな親切で大切なことです。親切とはこのような事だと思ってる方も多いのではないのでしょうか。しかし親切はそんなに限られたものではありません。気持ちさえあれば品物がなくても、お金がなくてもできるのです。だれにでもできる親切です。しかも

今からすぐできて、とっても大切な親切があります。それは「暖かく優しい言葉」です。言葉ひとつで、その人を幸福にも不幸にもするのです。

落ち込んでいる時、暖かく励ましてくれる人の言葉は、どんなに頼もしく受け取られるでしょうか。そして自分を奮い立たせてくれます。悲しみに閉ざされている人にとって優しい慰めの言葉はどんなに心を癒してくれることでしょうか。「言葉を出すなら親切で人を動かすような言葉を！」私は以前、ひとりで悩み会社を3ヶ月休みました。病院にも通いましたが、この問題を

解決したのは、医者でも薬でもなく友人の心のこもった暖かくやさしい言葉が復活のきっかけでした。人は誰でも褒められたい！認められたい！役にたきたい！愛されたい！という願いを持っています。褒められ認められて嬉しくない人はいないと思います。

「自分を大切な人として接して欲しい」という気持ちは、自分だけではありません。相手も同じ気持ちを持っています。相手の人を自分と同じ様に大切にする気持ちがあれば優しい言葉は自然と出てくるのではないのでしょうか。褒める言葉、励ます言葉、感謝の言葉を出す人は、それだけで廻りを明るくしていることになりま。そんなみんなから愛される人になれば最高！最近私がもらった言葉で「川

村さんが一生懸命やってくれるから助かる」というH氏の言葉が心に残っています。何気ない言葉ですがこんな一言ががんばれたりします。

人は皆少しでも幸せにろうと物やお金を求め裕福になってきましたが、これを幸せと感じている人が多いのではないのでしょうか。

確かに物、お金は幸せになるためには必要かもしれませんが、でもそれとは別の心で感じられる「親切と言葉」でちよっとだけ幸せになりませんか？



道腎協加盟地域腎友会組織一覧表

会 名	〒	住 所	電 話
旭 川 地 方 腎 友 会		旭川市	
岩 見 沢 腎 友 会		岩見沢市	
浦 河 地 区 腎 友 会		様似郡様似町	
江 別 腎 臓 病 患 者 会	069-0817	江別市野幌町代々木町81の6 溪和会江別病院 透析室内	011-382-1111
小 樽 後 志 地 方 腎 友 会		小樽市	
オ ホ ー ツ ク 腎 友 会		網走市	
北 見 地 方 腎 友 会		北見市	
釧 路 地 方 腎 友 会	085-0003	釧路市川北4-17 身体障害者福祉センター内	0154-23-6687
札幌腎臓病患者友の会		札幌市北区	
腎友会滝川クリニック透析者の会	073-0045	滝川市有明町2丁目4-45 腎友会滝川クリニック 透析室内	0125-24-2125
千 歳 腎 友 会		千歳市	
道南腎臓病患者連絡協議会	041-0941	函館市深堀町36番9号 渡辺内科泌尿器科内	0138-55-1185
十 勝 地 方 腎 友 会		帯広市	
苫 小 牧 腎 友 会		苫小牧市	
根 室 地 方 腎 友 会		根室市	
深 川 腎 友 会	074-0005	深川市5条5番10号 深川市立総合病院 透析室内	01642-2-1101
室 蘭 地 方 腎 友 会	050-0083	室蘭市東町2-1-19 室蘭市障害者総合福祉センター内	0143-45-6849
紋 別 地 方 腎 友 会		紋別郡遠軽町	
夕 張 腎 臓 病 友 の 会		夕張市	()
留 萌 地 方 水 無 人 腎 友 会	077-0038	留萌市寿町1丁目 市立総合病院 透析室内	0164-42-1500
稚 内 地 方 腎 友 会	097-0022	稚内市中央4丁目11番6号 市立病院 透析室内	0162-32-8134
北海道腎臓病患者連絡協議会	001-0017	札幌市北区北17条西2丁目21-617 サザンアベニュー北大101	011-747-0217
(社) 全 国 腎 臓 病 協 議 会	170-0002	東京都豊島区巣鴨1丁目20番9号 巣鴨ファーストビル3F	03-5395-2631

国会請願署名募金活動報告

○5万名を目標に昨年秋から取り組んできました国会請願署名募金活動は、目標には残念ながら達しませんでした。署名数では全腎協がわずかに増えJPCは逆に減少してしまいました。この請願は3月28日に全国の仲間により実施されます。皆様のご協力に感謝申し上げます。

国会請願署名・募金結果報告

平成14年2月28日現在

地 方 名	全 腎 協				J P C			
	署 名		募 金		署 名		募 金	
	平成12年度	平成13年度	平成12年度	平成13年度	平成12年度	平成13年度	平成12年度	平成13年度
札幌	14,550	15,623	755,619	911,023	13,843	14,413	162,813	144,240
小樽	4,363	4,574	285,000	300,000	2,223	2,362	23,120	21,600
旭川	4,367	4,878	256,343	204,581	—	—	—	—
稚内	553	487	0	0	310	370	0	0
留萌	1,297	850	140,511	55,230	761	502	0	7,100
道南	2,387	2,635	90,000	101,538	—	—	—	—
苫小牧	2,132	1,850	196,279	205,400	1,803	1,488	19,300	21,300
室蘭	1,934	1,765	141,900	169,400	—	—	—	—
滝川	531	304	71,900	43,300	308	186	0	3,738
十勝	3,167	3,089	148,940	187,385	2,668	1,890	6,305	29,415
釧路	3,542	3,840	57,417	43,025	1,907	1,708	9,550	9,100
北見	855	250	18,400	0	594	0	5,300	0
網走	1,151	1,150	18,200	12,870	610	731	15,000	9,350
夕張	190	191	28,300	34,300	100	121	13,700	10,100
紋別	410	510	12,000	25,000	281	451	10,300	15,000
岩見沢	350	504	14,500	31,000	180	388	5,000	11,000
江別	423	450	12,000	20,318	160	279	0	4,200
浦河	517	191	56,077	20,500	458	243	0	23,000
根室	140	260	1,000	2,000	0	0	0	0
千歳	0	11	0	0	0	11	0	0
深川	410	180	71,740	31,060	260	230	12,660	5,940
(伊達)	808	781	49,650	0	740	213	11,000	0
(静内)	119	329	7,000	15,700	80	100	0	0
(士別)	60	58	2,000	5,000	60	0	0	0
(富良野)	0	14	0	0	0	4	0	0
合 計	44,256	44,774	2,434,776	2,418,630	27,346	25,736	294,048	315,083

『募金配分割合』全腎協募金：地域腎友会35%、道腎協50%、全腎協15%

JPC募金：道難病連50%、JPC30%、道腎協20%

◎（ ）内の伊達は室蘭、静内は浦河、士別、富良野は旭川に所属

JPCのーは直接難病連へ直送しています

- 腎友会へご入会いただける方は、各施設幹事または、各地域腎友会事務局（p18参照）へお申し込みください。
- 年会費は各地域腎友会により異なります
各事務局にお問い合わせください。（なお、全腎協1,800円、道腎協2,400円分の年会費もその中に含まれます）

入 会 申 込 書

平成 年 月 日入会

氏 名	ふ り が な	性 別	生 年 月 日
		男・女	明大昭平 年 月 日
住 所	〒 電話		
医療機関名			
透析開始日	●人工透析 ●CAPD ●移植	昭和 平成 年 月 日	
職 業 (勤務先)	具体的に 電話		
透 析 日	曜日 { 昼・夜 } 曜日 { 昼・夜 } 曜日 { 昼・夜 }		

き り と り せ ん

事務局通信

「道腎協定期総会 ご案内」

○日時
平成14年5月19日(日)
午前10時より12時まで

○会場

ホテルユニオン
札幌市中央区南3条
西12丁目

TEL 561-6161

総会終了後午後1時より
医療講演会

講師 日本透析医学会
理事長 大平整爾先生
演 題 「透析医療の
進歩と展望」

総会前日交流会

日時
平成14年5月18日(土)
午後6時より

場 所
定山溪 ビューホテル

会 費 12,000円
(泊朝食交流会費含む)

交流会のみ 5,500円

※宿泊・交流会の参加は
各地域腎友会事務局へ
3月25日までにお申し
込み下さい。

第52回北海道ブロック会議

開催のお知らせ

日 時 平成14年4月13日(土)

・ 14日(日)

会 場 ホテルユニオン

札幌市中央区南3条西12丁目
TEL 561-6161

※詳細は案内にて

表紙の写真

・タイトル 「春の息吹き」
・撮影者 瀬野 一郎氏

(健常者)

・撮影場所 厚田の無煙浜

瀬野 一郎氏・昭和63年10
月拓銀退職(39年間勤務)。

後、翌年4月より道新のや
さしい写真教室の初級入学。

中級講座を卒業後、平成4
年4月より写真同好会「ふ
きのとう」に入会。同会の

事務局長も努めている。

平成6年～9年に同会写真
展に4回出展。

平成11年3月31日に病氣療
養のため退会。

全腎協全国大会参加

新千歳空港発着
添乗員同行

角館・男鹿半島 4日間の旅

◎ご旅行期間 平成14年5月25日(土)～5月28日(火) **3泊4日**

◎ご旅行代金 お一人様 **110,000円** (道腎協会員・家族の方)
116,000円 (会 員 以 外 の 方)

※透析費用は別途必要となります。

日次	月日曜	日 程 表	朝	昼	夕	宿 泊 地
1	5/25 (土)	日本エアシステム081便 新千歳空港——秋田空港——(秋田市観光：平野正吉美術館・ねぶり流し館他) 08:40発 09:35着/10:10発 (昼食)＝(追分)＝(寒風山)＝(門前)…遊覧船…(男鹿水族館)＝(入道崎)＝ホテル (16:00～17:00)	×	市 内	ホ テ ル	男鹿温泉 男鹿グランドホテル 男鹿市北浦湯本中里81 TEL 0185-33-2151
2	5/26 (日)	～終日：貸切バス～ ホテル——全腎協全国大会参加(会場：秋田市文化会館)—— (08:00頃) (09:00頃到着) (15:40頃) (午後：病院にて透析)——ホテル	ホ テ ル	×	×	秋田市内 三井アーバンホテル 秋田市大町2-5-1 TEL 018-824-4131
3	5/27 (月)	～終日：貸切バス～ ホテル——(秋田自動車道)——(角館：武家屋敷・伝承館) (09:00頃) (湯尻)——(田沢湖観光)——(仙岩峠)——(小岩井農場)——繁温泉 (16:00頃)	ホ テ ル	角 館	ホ テ ル	繁 温 泉 愛 真 館 盛岡市繁塗沢40-4 TEL 019-689-2111
4	5/28 (火)	～終日：貸切バス～ ホテル——(盛岡市観光：石割桜・原記念館他)——(紫波町) (10:00頃) 日本エアシステム070便 ——花巻空港——新千歳空港 13:05発 14:00着	ホ テ ル	空 港	—	

◎募 集 人 員 20名様(最少催行人員16名様)

◎利用予定ホテル 上記日程に記載の通り
(各ホテル・旅館とも2名1部屋利用)

◎申 込 締 切 平成14年4月12日(金)
(但し、定員になり次第締め切りとさせていただきます)

お申込み・お問い合わせ

遊 ネットツアーズ

〒060-0033 札幌市中央区北3条東8丁目 砂子ビル3階
TEL 011-242-7225 担当：武田・福田

後 援：北海道腎臓病患者連絡協議会

透析により欠乏しやすい栄養成分の補給に

L-カルニチン、水溶性ビタミン、ミネラル

透析中の皆様のために開発された

カルフェロ

Carfero

栄養補助食品



1瓶200円(税別) 内容量50ml/瓶
発売元/ベータ食品(株)
製造元/滋賀県製薬(株)

透 析 合 併 症

透析中、透析後に起こる足のケイレン

透析中、透析後の倦怠感

透析中、透析直後の血圧低下

心臓機能の低下

透析を受けておられる方に多くみかけられるこれらの症状の大きな原因は、透析により体にとって必要な栄養素までが除去されてしまうことにあります。

表示単位 1瓶(50ml) 中 (エネルギー20.5kcal)

たんばく質	0.7g	ナトリウム	20.9mg	マグネシウム	0.5mg	ビタミンB ₁	10mg	葉酸	1mg
脂質	0.0g	カルシウム	0.5mg	リン	2.5mg	ビタミンB ₆	50mg	鉄	4.5mg
糖質	6.7g	カリウム	2.5mg	L-カルニチン	50mg	ニコチン酸アミド	50mg	クエン酸	250mg

カルフェロは、透析専門医の協力を得て開発された栄養ドリンク剤です。透析により流出し、欠乏しやすいL-カルニチンと水溶性ビタミン、鉄などの栄養素をバランスよく効果的に配合しました。

■商品ご購入・お問い合わせ

ベータ食品株式会社  **0120-831-123** (受付/平日9:00~18:00)

●1箱50本入り 販売価格11,100円(税・送料込) 内訳/商品代10,000円・送料580円・消費税520円

●1箱10本入り 販売価格 2,490円(税・送料込) 初めてご利用される方のためにご用意しました。

〈商品の発送〉ベータ食品より日通ペリカン便にてお届けいたします。



気持ちのよい汗、始めませんか

かゆみ、水分管理、冷え等でお悩みの方
1週間無料体験できます

『湯カラッ』は特許の様々な仕組みで、低い温度(40℃～50℃)の僅かな湿り気を含む温風により、お風呂の様な水圧もなくサウナの様な熱の負担もなく、身体を芯から温め、無理なく発汗させます。

お客様の声

○サウナよりも楽に入れる

(透析歴7年 男性)

銭湯のサウナは熱くて負担があるが「湯カラッ」は楽に入れる。昨夏はタオルを使う事など無かったが、春から使い始めて今年の夏は、寝ていても汗が出るようになってきた。

○かゆみが以前より和らいできた

(透析歴5年 男性)

汗の量は季節によって異なるが、1回の使用で100～400cc程出るようになった。普段の生活の中でも汗が出やすくなってきている。かゆみも透析の待ち時間に「孫の手」を使わなくても良いほどに和らいできた。

○体が温まり冷えの症状が無くなった

(透析歴3年 女性)

購入後3ヶ月までは汗の量も少なかったが、1年使用した今では300cc位出る。私は血行不良で冬になると体が温まるため、今までの様な症状が無くなった。水分管理もうまくいき快適です。

- 体重管理が楽になった。
- 体が温まり調子が良い。

○血圧が安定してきた

(透析歴8年 男性)

1年半毎日使っているが、一気に入り続けるのではなく出たり、入ったり工夫し、自分に合った方法で使っている。汗は少しずつ出るようになり、かゆみも和らいできた。高かった血圧も下がり、今は安定している。

○気持ちの良い発汗で、肌もツルツル

(透析歴15年 女性)

汗の量は200cc～300cc程度であるが、気持ちの良い発汗により肌がツルツルし、「顔色が良くなったね」と人から言われるようになった。体も温まるので今では家族皆で健康管理のため喜んで使用しています。

○手軽に使えて嬉しいです

(透析歴25年 女性)

使用して2ヶ月で、まだ沢山の量が出る程度でもないですが、汗が流れる感じがとても良い気分です。体がポカポカ温まり、心なしかよく眠れる気がします。何よりも手軽に使えることが嬉しいです。

「湯カラッ」は、全国の県腎協、県友会、難病連様でお取扱いいただき使用されている会員の方々に大変好評です。(一部地域を除く)

- お部屋でテレビを見ながら簡単に使用できます。
- 組立、後片付けがラクラク！
畳一帖分のスペースでOK。
- 好きなところで好きな時間に入浴。
- 熱さや息苦しさのないリラックス入浴。
- 熱くなく多量に発汗。
- 1回30分の入浴は
わずか5～9円の電気代で
使用でき経済的。
- 体の芯まで温まり、家族みんなの
美容と健康に効果的。
- 乾燥機能が付いて衛生的。



標準価格 218,000円 → 会員特別価格 174,400円(税抜き)
月々6,000円より分割払いOK(3～36回)

世界7ヶ国特許商品
通産省許可商品第81-22557号

パンフレット、モニター体験を希望される方は下記までお気軽にお問い合わせください。

北海道腎臓病患者連絡協議会

〒001-0017 札幌市北区北17条西2丁目21-617
サザンアベニュー北大101
TEL・FAX (011)747-0217

オンキョーリブ(株)お客様相談室

フリーダイヤル 0120-31-8065 まで
〒572-0028 大阪府寝屋川市日新町1番13号
TEL (072)-831-8090 FAX (072)-831-3263
<http://onkyoliv.onkyo.co.jp>

透析に入ったら必ず腎友会に入会しよう

私たちの医療と福祉は
私たちが力を合わせ
守りましょう



★ひとりひとりの力が腎友会を支えています★

医療費の無料化・福祉手当の引き上げ・J R・航空運賃割引等、皆様が心配なく透析を受けられたのは、地域腎友会を始め全腎協・道腎協の行政に対する粘り強い運動の成果です。

今、私達の医療と福祉制度は、政府の“痛みを伴う改革”の名のもとに次々と後退させられようとしています。皆様ひとりひとりの入会で大きな組織となり、大きな力を発揮します。